

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 株式会社 マーベラスエンターテインメント
 コード番号 7844 URL <http://www.mmv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 中山 晴喜
 (氏名) 中山 郁伸

TEL 03-5793-9170

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	7,997	—	△241	—	△231	—	△151	—
20年3月期第3四半期	8,237	11.2	△302	—	△298	—	568	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△1,807.36	—
20年3月期第3四半期	6,725.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	7,520	2,377	31.0	28,083.00
20年3月期	7,813	2,812	33.4	30,897.96

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,333百万円 20年3月期 2,610百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	750.00	750.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	625.00	625.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	0.9	260	△26.3	230	△29.7	140	△82.3	1,660.12

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 84,480株 20年3月期 84,480株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,380株 20年3月期 1株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 84,097株 20年3月期第3四半期 84,480株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しています。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）における当社グループの連結業績は、売上高7,997百万円（前年同期比2.9%減）、営業損失241百万円（前年同期営業損失302百万円）、経常損失231百万円（前年同期経常損失298百万円）、第3四半期純損失151百万円（前年同期純利益568百万円）となりました。

売上高におきましては、舞台公演事業において公演規模拡大に伴い観客動員数が増加いたしました。前上半期にアミューズメント事業から撤退したことによる減少分をカバーするに至らず微減となりました。

利益におきましては、舞台公演事業において初の海外公演、ダブルキャスト公演実施に伴い利益率が低下した他、主に内部統制への対応を要因として本社費が増加いたしました。音楽映像事業において「家庭教師ヒットマンREBORN!」、「プリキュア」シリーズ、「恋姫†無双」、「ミュージカル『テニスの王子様』」シリーズのDVD受注が好調に推移した他、デジタルコンテンツ事業においてプラットフォーム戦略の見直し等によって黒字化を果たしたことにより、採算性が改善いたしました。なお、前年同期におきましては、事業再編に伴う特別利益969百万円の計上がありました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①音楽映像事業

音楽映像事業におきましては、アニメーションを中心とした優良コンテンツの音楽・映像商品（パッケージソフト）化とコンテンツの企画立案から二次利用までを行うマスターライセンス（映像著作権）保有作品の製作を行っております。

音楽

音楽事業におきましては、「プリキュア」シリーズの企画音楽が好調に推移した他、専属アーティスト『中河内雅貴』、『vistlip』、2008年10月にデビューをした『古川雄大』の楽曲等を中心に商品を編成いたしました。

映像

映像事業におきましては、「ミュージカル『テニスの王子様』」シリーズのDVDが、公演規模拡大に伴い、2008年7月から11月にかけて行われた公演を収録した新作DVDとともに、旧作DVDのリピート受注が好調に推移しました。また、「家庭教師ヒットマンREBORN!」、「プリキュア」シリーズ、「恋姫†無双」のDVD受注が好調に推移しました。

この結果、当第3四半期累計期間における音楽映像事業の業績は、連結売上高3,014百万円（前年同期比2.3%減）、連結営業利益256百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

②デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業におきましては、据え置き型及び携帯型ゲーム機を中心としたデジタルエンターテインメントコンテンツの企画・開発・発売を行っております。

当第3四半期累計期間におきましては、国内において新作23タイトルを発売し、特に、当社オリジナルシリーズの新作、「牧場物語 ようこそ！風のバザールへ（ニンテンドーDS）」、「牧場物語 わくわくアニマルマーチ（Wii）」、「ルーンファクトリーフロンティア（Wii）」、「ルミナスアーク2 ウィル（ニンテンドーDS）」、「VALHALLA KNIGHTS 2（PSP）」、新たなオリジナル作品「アヴァロンコード（ニンテンドーDS）」、版權作品「一騎当千Eloquent Fist（PSP）」、「家庭教師ヒットマンREBORN! バトルアリーナ（PSP）」が堅調に推移し、PS2向けソフトの販売不振に苦戦した前期に比べ採算性が改善いたしました。海外におきましては、2008年10月より米国子会社Marvelous Entertainment USA, Inc. が本格稼働を開始し、初のタイトルとして「VALHALLA KNIGHTS 2（PSP）」を発売し堅調に推移した他、英国子会社Rising Star Games Limitedにおいて、「HARVEST MOON DS：Island of Happiness」等12タイトルを発売いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間におけるデジタルコンテンツ事業の業績は、連結売上高4,136百万円（前年同期比1.1%増）、連結営業利益21百万円（前年同期連結営業損失181百万円）となりました。

③舞台公演事業

舞台公演事業におきましては、漫画やアニメ、ゲームの人気作品を原作にした興行ビジネスを展開しております。

当第3四半期累計期間におきましては、2008年5月に公演した「ミュージカル『テニスの王子様』コンサートDream Live 5th」と、2008年7月から11月にかけて初の台湾・韓国を含む全10都市で公演した「ミュージカル『テニスの王子様』The Imperial Presence氷帝feat. 比嘉」が、いずれもシリーズ史上最高の観客動員を記録いたしました。また、前期に初公演を果たし、好評を得て7月にシリーズ2作目の公演を行った「ミュージカル『DEAR BOYS』vs. EAST HONMOKU」につきましても、観客動員が好調に推移いたしました。しかしながら、「ミュージカル『テニスの王子様』」において、初の海外進出及びダブルキャ

スト公演の実施に伴い大幅に原価が増加したことにより、利益率が低下いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間における舞台公演事業の業績は、連結売上高855百万円（前年同期比69.7%増）、連結営業利益37百万円（前年同期比64.3%減）となりました。

※前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は7,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ292万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少851百万円、デジタルコンテンツの増加570百万円によるものです。

負債合計は5,143百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少472百万円、短期借入金の増加850百万円、未払法人税等の減少175百万円によるものです。

純資産合計は利益剰余金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ434百万円減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で公表した業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、今後様々な要因によって実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 連結の範囲の変更

従来、連結子会社であった株式会社ランタイムは、第1四半期連結会計期間において吸収合併したため、消滅しております。

2. 会計方針の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

「四半期連結財務諸表作成に係る会計基準(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しています。

②リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理を引き続き採用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

③棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,188,108	1,334,636
受取手形及び売掛金	1,328,360	2,179,709
製品	50,216	126,491
仕掛品	375,205	282,002
映像コンテンツ	201,870	312,308
デジタルコンテンツ	2,956,405	2,385,924
原材料及び貯蔵品	29,201	27,976
その他	782,691	648,302
貸倒引当金	△55,746	△74,742
流動資産合計	6,856,314	7,222,609
固定資産		
有形固定資産	201,164	198,687
無形固定資産		
のれん	72,314	96,419
その他	143,584	97,109
無形固定資産合計	215,898	193,528
投資その他の資産	247,307	198,528
固定資産合計	664,370	590,744
資産合計	7,520,685	7,813,353
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	726,109	1,198,394
短期借入金	2,114,875	1,264,842
1年内返済予定の長期借入金	400,000	17,312
未払法人税等	7,317	182,450
賞与引当金	40,969	90,276
返品調整引当金	25,961	22,914
その他	1,818,285	1,817,889
流動負債合計	5,133,518	4,594,079
固定負債		
長期借入金	—	406,953
その他	9,701	—
固定負債合計	9,701	406,953
負債合計	5,143,219	5,001,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,539	878,539
資本剰余金	880,059	880,059
利益剰余金	659,775	875,129
自己株式	△27,726	—
株主資本合計	2,390,648	2,633,728
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△56,950	△23,468
評価・換算差額等合計	△56,950	△23,468
少数株主持分	43,768	202,060
純資産合計	2,377,465	2,812,320
負債純資産合計	7,520,685	7,813,353

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	7,997,683
売上原価	5,984,449
売上総利益	2,013,234
従業員給料及び賞与	432,277
賞与引当金繰入額	30,910
広告宣伝費	940,192
その他	851,834
販売費及び一般管理費合計	2,255,214
営業損失(△)	△241,980
営業外収益	53,794
営業外費用	
支払利息	40,524
その他	2,325
営業外費用合計	42,849
経常損失(△)	△231,036
特別利益	
貸倒引当金戻入額	18,655
その他	1,187
特別利益合計	19,843
税金等調整前四半期純損失(△)	△211,192
法人税、住民税及び事業税	2,310
少数株主損失(△)	△61,508
四半期純損失(△)	△151,993

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	3,656,496
売上原価	2,685,703
売上総利益	970,793
従業員給料及び賞与	117,432
賞与引当金繰入額	30,910
広告宣伝費	456,170
その他	279,372
販売費及び一般管理費合計	883,886
営業利益	86,906
営業外収益	4,489
営業外費用	
支払利息	13,919
その他	1,284
営業外費用合計	15,203
経常利益	76,192
特別利益	
貸倒引当金戻入額	△474
特別利益合計	△474
税金等調整前四半期純利益	75,717
法人税、住民税及び事業税	770
少数株主損失(△)	△11,056
四半期純利益	86,004

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△211,192
減価償却費	99,160
映像コンテンツ償却額	498,399
のれん償却額	24,104
賞与引当金の増減額(△は減少)	△49,306
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18,655
返品調整引当金の増減額(△は減少)	10,996
受取利息及び受取配当金	△303
支払利息	40,524
売上債権の増減額(△は増加)	735,859
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,047,941
仕入債務の増減額(△は減少)	△425,743
未払金の増減額(△は減少)	△304,118
未払印税の増減額(△は減少)	△85,789
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,017
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△225,295
その他の流動負債の増減額(△は減少)	346,173
小計	△624,143
利息及び配当金の受取額	303
利息の支払額	△44,049
法人税等の支払額	△187,420
営業活動によるキャッシュ・フロー	△855,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△59,635
有形固定資産の売却による収入	10,285
無形固定資産の取得による支出	△81,485
貸付けによる支出	△1,660
貸付金の回収による収入	1,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	3,220,118
短期借入金の返済による支出	△2,279,613
長期借入金の返済による支出	△24,265
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△704
配当金の支払額	△62,389
自己株式の取得による支出	△27,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	825,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,507
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△146,528
現金及び現金同等物の期首残高	1,334,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,188,108

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

(単位:千円)

	音楽映像 事業	デジタル コンテンツ 事業	舞台公演 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	3,014,873	4,136,579	855,303	8,006,756	(9,072)	7,997,683
営業費用	2,757,939	4,115,262	817,393	7,690,594	549,069	8,239,664
営業利益又は 営業損失(△)	256,934	21,316	37,910	316,161	(558,141)	△241,980

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

(単位:千円)

	日本	イギリス	アメリカ	計	消去又 は全社	連結
売上高	7,248,774	810,915	45,405	8,105,096	(107,412)	7,997,683
営業費用	6,808,594	913,539	69,022	7,791,156	448,507	8,239,664
営業利益又は 営業損失(△)	440,180	△102,623	△23,617	313,939	(555,920)	△241,980

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金 額 (千円)
I 売上高	8,237,092
II 売上原価	6,431,029
売上総利益	1,806,063
III 販売費及び一般管理費	2,108,762
1 従業員給与・賞与	366,382
2 賞与引当金繰入	27,413
3 広告宣伝費	858,462
4 その他	856,503
営業損失 (△)	△302,699
IV 営業外収益	35,727
1 受取利息	426
2 受取配当金	402
3 為替差益	19,096
4 消耗品売却額	6,259
5 その他	9,541
V 営業外費用	31,729
1 支払利息	31,338
2 その他	391
経常損失 (△)	△298,701
VI 特別利益	977,460
1 貸倒引当金戻入額	4,066
2 固定資産売却益	3,529
3 事業譲渡益	112,382
4 関係会社株式売却益	857,481
VII 特別損失	23,601
1 固定資産売却損	16,517
2 固定資産除却損	7,084
税金等調整前四半期純利益	655,157
法人税、住民税及び事業税	34,390
少数株主利益	52,633
四半期純利益	568,133